

幼稚園3年保育の見直しについて

1. はじめに

平成15年度より栗東市立保育園・幼稚園では、乳幼児保育総合化を進め、幼稚園、幼児園の短時部で3歳児から就学までの3年保育を行ってきました。

全国的な少子化の中において、本市では乳幼児数の増加に伴い、施設の増改築を行うなどの対応を図ってきましたが、それも限界にきています。限られた施設を有効に活用していく中で、保育サービスを提供していくことを目的に、昨年（平成21年度入園分）は、現状の施設にて就学を控えた4歳児、5歳児の入園を優先することとし、残りの保育室の状況により3歳児を受け入れました。

2. 現状 平成21年度入園分（昨年度実施）

①4、5歳児の入園申し込みを従来どおり10月に行い、申し込み状況からクラス数を決定した後、残りの保育室の状況に応じて3歳児の受け入れを行いました。

②3歳児の入園受付を12月に行い、募集人数を越えた幼稚園で抽選を行いました。

↓↓↓↓↓

3. 平成22年度入園分予定（本年度実施）

(1) 入園申込について

①10月に3、4、5歳児の入園申し込みを一斉に受け付け、4、5歳児の入園申し込み状況から、そのクラス数を確定し、残りの保育室の状況に応じて3歳児の受け入れを行います。

②このため3歳児の入園につきましては、申し込みが定員数を越えた場合抽選を行います。

(2) 保育内容について

平成22年度も現行どおり一クラス35人以下で受け入れますが、家庭から初めて集団生活に入る幼児にとってスムーズに移行できるよう保育していくことが必要です。

入園当初は、生活習慣面の対応に追われている現状であり、おむつの着用率が15%から20%。排泄・食事・着脱の自立も園によって違いはあるものの約半数位となっています。幼児一人ひとり丁寧に関わることが大切であり、また保護者との関わりを更に深めながら支援を得ることも必要になってきています。

【保育にかかる方策】

緩やかな移行のための保育時間調整

①園生活に慣れるまでの第1学期間(4月1日から7月31日)、午前中の保育とします。

②上記期間に加え、9月一ヶ月幼稚園預り保育を休止します。